



平成 28 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 沖 電 気 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 鎌 上 信 也
コ ー ド 番 号 6 7 0 3 東 証 第 1 部
問 合 せ 先 I R 室 長 山 内 篤
電 話 番 号 0 3 - 3 5 0 1 - 3 8 3 6

特別損失の計上および平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と決算値との 差異ならびに平成 29 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間における特別損失の計上について、下記の通りお知らせいたします。

また、平成 28 年 5 月 10 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表の決算値との差異、ならびに最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 10 日に公表しました平成 29 年 3 月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

平成 26 年 11 月 18 日に公表しましたとおり、当社は、消防救急無線のデジタル化に係る商品又は役務に関し、独占禁止法違反の疑いがあるとして公正取引委員会の立ち入り検査を受け、以降全面的に協力してまいりました。今般本件に関して同委員会から意見聴取通知書を受領したため、当第 2 四半期連結累計期間において、本件に関連する損失の発生に備え、課徴金見込 243 百万円を含めた 2,477 百万円を特別損失に引当計上いたします。

2. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と決算値との差異について

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------------------------------------------|----------------|----------|-------------|----------------------|-----------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 210,000 | 百万円 0 | 百万円 △500 | 百万円 0 | 円 銭 0.00 |
| 実績値 (B) | 199,255 | △647 | △8,946 | △13,528 | △155.79 |
| 増減額 (B) - (A) | △10,745 | △647 | △8,446 | △13,528 | |
| 増減率 (%) | △5.1 | - | - | - | |
| (ご参考) 前第 2 四半期 (累計) 実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計) | 223,001 | 3,594 | 2,676 | 895 | 10.31 |

差異の理由

国内事業は順調に推移したものの、中国向け ATM では大都市圏の急速な普及が一段落し市場が踊り場にあること、プリンター事業では円高の影響に加えてオフィス向けプリンターの需要減少の影響が継続した結果、売上高は前回発表予想比で減収となりました。営業利益は減収の影響、経常利益は、営業外費用での為替差損 8,057 百万円の計上により、また親会社株主に帰属する四半期純利益は、上記の特別損失の計上により、それぞれ悪化しました。

3. 通期連結業績予想の修正について

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------|---------|--------|---------|---------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 500,000 | 20,000 | 18,000 | 12,000 | 138.19 |
| 今回発表予想（B） | 465,000 | 15,000 | 6,000 | 3,000 | 34.55 |
| 増減額（B）－（A） | △35,000 | △5,000 | △12,000 | △9,000 | |
| 増減率（％） | △7.0 | △25.0 | △66.7 | △75.0 | |
| （ご参考）前期実績 （平成 28 年 3 月期） | 490,314 | 18,594 | 11,366 | 6,609 | 76.10 |

修正の理由

メカトロシステム事業では、中国ATM市場は、今後の内陸部への普及など市場の成長余地は依然としてあるものの、現在の踊り場の状況はしばらく続くものと予想されます。プリンター事業においては、オフィス需要の減少影響によって高付加価値領域の拡大効果が相殺されています。また、為替については今期の序盤に乱高下した状況から、現在は円高傾向の水準が当面継続すると考えられます。

第2四半期累計期間の業績およびこれらの状況を踏まえ、通期連結業績予想について修正をいたしました。

※平成 28 年 10 月 1 日を効力発生日として、普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を実施いたしました。これに伴い、1 株当たり四半期純利益および 1 株当たり当期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

（注）上記の業績見通しは、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。

以 上